

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--|-------|--------------|
| 事業所番号 | 270102197 | | |
| 法人名 | 株式会社 青森老人福祉プラザ | | |
| 事業所名 | グループホーム三内丸山 | | |
| 所在地 (電話番号) | 〒038-0031 青森県青森市三内字沢部305番地4 (電話) 017-783-4748 | | |
| 評価機関名 | 社団法人青森県老人福祉協会 | | |
| 所在地 | 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成 20年 7月 24日 | 評価確定日 | 平成 20年 9月 1日 |

【情報提供票より】(平成 20年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-------------------|---------------------|------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 17年 9月 20日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 16 人 | 常勤 7人, 非常勤 9人, 常勤換算 | 15人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|---------|-----|-------|
| 建物構造 | 木造平屋 造り | | |
| | 1 階建ての | 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|---------------------|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 15,990 ~ 冬期19,990 円 |
| 敷金 | 有() 円 (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有() 81,990 円 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / (無) |
| 食材料費 | 朝食 | 400 円 | 昼食 400 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ 円 |
| または1日当たり 1,200 円 | | | |

(4) 利用者の概要(7月 1日現在)

| | | | |
|-------|------|--------|--------------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 6 名 | 女性 12 名 |
| 要介護1 | 5 名 | 要介護2 | 4 名 |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 4 名 |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 平均 | 78 歳 | 最低 | 67 歳 最高 89 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------|
| 協力医療機関名 | あおもり協立病院 |
|---------|----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームが周囲の民家より少し高い位置にあるため、明るく眺望の良いリビングから、街並みの変化や四季の移り変わりを感じながら過ごすことができる。リビングやトイレ前などの共用スペースを広くとっているほか、利用者が周りの目を気にせず面会者と歓談できる会議室や家族の宿泊施設もあるので、利用者はゆったりと落ち着いた雰囲気の中で過ごせる環境になっている。管理者、職員のチームワークが良く、個性豊かな人材が多いので、余暇活動の支援から運営全般に至るまでアイデアを出し合って、利用者が活き活きと充実した日々を過して頂けるよう一丸となって取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年度の外部評価の結果を踏まえ、ホームの役割の変化に対応した新たな理念づくり、運営推進会議の定期的開催、アセスメントの評価と記録の整備、必要とされる事故時等のマニュアルの整備など、改善に向けての取り組みを期待された内容に積極的に取り組み、サービスの向上のために活用している。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を利用者のサービスの質の引き上げのために活かそうと、全職員で改善に向けての取り組みなどについて話し合いを行い、その検討結果を詳細に評価表に記録している。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議に多数の参加が得られるようにと各関係者の都合を調整しながら概ね2ヵ月ごとに開催し、評価への取り組み状況、ホームの行事や町内会の行事等を通じての相互交流など、幅広い分野に渡って意見交換を行っている。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>毎月、全家族に送付している近況報告、金銭の出納状況や利用者の活動写真やエピソードなどが記載されたホーム便りなどを話題に面会時に必ず話しかけ、家族の率直な意見の引き出しを行い、それらを直ちに運営に反映させている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内の行事や祭りへの参加、児童館の子供たちや母親クラブなどとの相互交流のほか、ホームの納涼祭に参加を呼びかけるなど、地域住民との交流を積極的に行っている。また、市内の連携グループホームと合同で著名講師を呼んでの無料認知症ケア講演会の企画や開催のほか、飛び込みの認知症に関する相談にも親身になって応じ、状況によっては速やかに専門機関につなげるなど、地域密着サービスの拠点としての役割を担っている。</p> |

2. 評価結果(詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| ・理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 全職員で昨年度の理念を見直し、地域密着サービスの役割を反映させ理念をつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念をミーティングや会議の中で確認しているほか、ホームの数箇所に理念を掲示して、振り返りを促している。新たな理念の具現化に向け、地域との繋がりを意識した取り組みを強化している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 4 | 隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | 町内の行事や祭りへの参加、児童館の子供たちや母親クラブなどとの相互交流のほか、ホームの納涼祭に参加を呼びかけるなど、地域住民との交流を積極的に行っている。また、市内の連携グループホームと合同で著名講師を呼んでの無料認知症ケア講演会の企画や開催のほか、飛び込みの認知症に関する相談にも親身になって応じ、状況によっては速やかに専門機関につなげるなど、地域密着サービスの拠点としての役割を担っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 5 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>全職員で自己評価に取り組み、改善に向けた話し合いの結果を詳細に記録している。また、ホームの役割の変化に対応した新たな理念づくり、運営推進会議の定期的開催、アセスメントの評価と記録の整備、必要とされる事故時等のマニュアルの整備など、外部評価で取り組みを期待された内容に積極的に取り組み、サービスの向上に活かしている。</p> | | |
| 5 | 6 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>多数の参加が得られるようにと各関係者の都合を調整しながら概ね2ヵ月ごとに開催し、評価への取り組み状況、ホームの行事や町内会の行事等を通じての相互交流など、幅広い分野に渡って意見交換を行っている。</p> | | |
| 6 | 7 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>運営のことや疑問等に関して市の担当者まで出向くなどして意見交換を行い、連携してサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 7 | 8 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>それぞれの制度を活用できるように資料を作成し、それに基づいて研修会を行い、すべての職員が必要な人を支援できる体制を作っている。また、現在、制度を活用しようとしている利用者や家族のサポートも積極的に行っている。</p> | | |
| 8 | 9 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待に関するマニュアルや資料をもとに研修を行ったり、ミーティング等で話し合ったりしながら、虐待が見過ごされることがないようにしている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 9 | 10 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>ホームの見学時や契約時に丁寧に説明を行い、理解・納得を図っている。また、契約を変更した際には十分に説明し、納得を得た上で、再契約を結んでいる。</p> | | |
| 10 | 12 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>毎月、全家族に近況報告、金銭の出納状況、利用者の活動写真やエピソードなどが記載されたホーム便りを送付している。</p> | | |
| 11 | 13 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>毎月送付している近況報告等を話題に、家族等に面会時に必ず話しかけるなどして率直な意見の引き出しを行い、それらを直ちに運営に反映させている。</p> | | |
| 12 | 16 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動は職員のスキルアップのために必要な範囲に留め、勤務表を柔軟に作成・変更するなどして、職員が長く働き続けられるように配慮している。また、異動のダメージを最小限にする意味でも、日頃からA棟とB棟の利用者との交流を深めるようにしている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 13 | 17 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ホーム内での報告会などの研修を行っている。また、経験年数や力量等を考慮しての外部研修のほか、個人的に希望する研修や資格取得のための研修などへの参加についても積極的に支援している。 | | |
| 14 | 18 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 近隣の事業所と定期的に事例検討会を行ったり、認知症に関する講演会の企画や運営など、連携してサービスの質を向上させていく取り組みを行っている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 15 | 23 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前に本人にホームを見学してもらったり、利用後も積極的に寄り添いの場面や話し合いの場を持つなどして、徐々に信頼関係を構築している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 16 | 24 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者は人生の先輩として接し、できることや生活の知恵を暮らしに活かしたり、得意とする習字や踊りを職員も他利用者と一緒に学んだりするなど、共に支えあって過ごしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 17 | 30 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者が話しやすい雰囲気づくりをして、日々の暮らし方や外出先などの要望の引き出しを行っている。困難な利用者については家族の意見や日頃の観察を職員が持ち寄り、会議等で本人本位に検討している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 18 | 33 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人とその家族との話し合いの内容や日ごろの職員の観察や気づき、意見を持ち寄って介護計画が作成され、その内容は一人ひとりの利用者の意向や要望を取り入れたものとなっている。 | | |
| 19 | 34 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は、本人の状態等に変化があれば随時見直しされ、変化のない利用者であっても認定有効期間内に確実に見直しされている。また、アセスメント記録や評価等、必要とされる記録も見やすく整理されている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 20 | 36 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 希望する美容院などへの外出支援など、本人や家族の状況に応じて柔軟に対応している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 21 | 40 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>本人や家族が希望する病院に通院できるよう送迎や付き添い等、必要な支援を行っている。また、通院先との連携を密にし、利用者が適切な医療を受けられるようにしている。</p> | | |
| 22 | 44 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>全ての家族と重度化した場合に備えての話し合いがなされ、家族やかかりつけ医との連携体制も整備されているが、終末期については、現に必要とされる関係者との話し合いに留まっている。</p> | | <p>終末に提供するホームの実状に即した具体的なケアなどについて文書化し、利用者、家族、職員、かかりつけ医師等、関係者間の意思統一を図ることに期待したい。</p> |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 23 | 47 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>言葉遣い等に関する研修を行うなどして、自尊心や誇り、プライバシーを損ねることがないようにしている。また、個人情報や記録の取り扱いについては、家族の同意を得られた範囲で使用している。</p> | | |
| 24 | 49 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>利用者の動きやペースを観察しながら一人ひとりに合わせた対応を行っており、急がせる場面や慌しい場面はない。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 25 | 51 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>週1回程度利用者に好みを聞いてメニューに取り入れられたり、その時々体調に配慮した食事を提供している。また、食事の準備や片付けは希望する利用者と一緒にいるほか、一人ひとりのペースで食べられるよう職員全員が同じ食事を和やかな雰囲気の中で食べている。</p> | | |
| 26 | 54 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>入浴日を決めているが、本人の希望があればいつでも入浴できる体制となっている。また、本人の要望やペースを大切にされた入浴支援が行われ、夏場はシャワー浴のほか、屋外での足浴も楽しめる。</p> | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 27 | 56 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>食事の準備や片付け、花への水やり、洗濯・おしぼりたたみなどの日課や習慣、暮らしに役立つ生活の知恵や習字、踊りなどの特技を聞き出し、それらを暮らしの中での役割づくりや生きがいづくりに活かしている。</p> | | |
| 28 | 58 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>天気のよい日は毎日のように日光浴したり屋外でレクリエーションを行ったりしている。また、ホーム前や近所までなど、その日の希望や体調に合わせての散歩や車での遠出のほか、家庭の事情に配慮しての催し物の見物など、多様な外出支援を行っている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 29 | 62 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束に関するマニュアルを整備し、それに基づいた職員の研修を行うなどして、身体拘束ゼロに取り組んでいる。</p> | | |
| 30 | 63 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>玄関や居室は、施錠されていない。「家に帰る」と、出かけようとされる利用者に対してはさりげなく見守ったり、話を聞いたり、本人が納得するまで一緒に歩いたりして気分転換を図るなどして、鍵をかけないケアを実践している。</p> | | |
| 31 | 68 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>消防署と連携し、火災訓練を行っているが、地域の人々との災害時の協力体制については、次回の運営推進会議で話し合う予定である。</p> | | <p>地域の消防団等との協力体制の整備や地震に備えての取り決めの文書化と実践的な訓練を通じて、災害への備えを万全とすることが望ましい。</p> |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 32 | 74 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>知り合いの栄養士の作成したメニューを参考に献立を作成しているが、旬の素材の差し入れがあった時や利用者から希望のメニューがあれば、臨機にメニューを変更している。また、栄養等の偏りがないよう変更後のメニューを含め定期的に栄養士に献立を確認して頂きながら専門的見地からのアドバイスを受けている。</p> | | |
| 33 | 75 | <p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> | <p>必要となる各種の感染症マニュアルを整備し、それに基づいた研修を行っている。また、マニュアルは定期的に見直しされ、変更や最新情報の追加があれば、都度、全職員に回覧するなどして、職員の振り返りを促している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> | | | | | |
| <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 34 | 78 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居間、トイレ前などの共用スペースを広くとっているほか、面会者が周りの目を気にせず歓談できる家族宿泊室や会議室があるので、利用者はゆったりと落ち着いた雰囲気の中で過ごすことができる。また、生活感や季節感を感じて過ごせるよう居間や廊下などに、利用者や職員による季節折々の手作りの作品などをさり気なく飾っている。</p> | | |
| 35 | 80 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者は、仏壇や使い慣れたタンス、孫の写真など自由に居室に持ち込み、居心地よく過ごされている。</p> | | |

 は、重点項目。